

令和8年度 みやぎエコ・エデュケーション・プログラム(MEEP)推進事業 講座及び講師一覧（案）

No.	分野等	メニュー名称	メニュー概要	講師名	対象者					実施場所等				参考教科・学年等
					未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中学生	大人	座学(対面)	リモート(Web等)	野外活動	現地見学	
1	自然環境・共生	身近な薬草を知ろう！	身近な自然の観察を通して、道端にある植物が薬草になることを理解し、植物の季節、利用の仕方、生物多様性とSDG sを意識した私たちの生活のかかわりを学びます。	今野 勇			●			●		●	●	
2	自然環境・共生	地元の自然を楽しく学ぼう	身近な自然環境（山林、川、ため池、公園等）の観察会。自然の大切さや自然の中で過ごす楽しさを体験します。山野草、昆虫・水生生物、野鳥、季節等感じての生活、地元産業・農林漁業との繋がりを学びます。地元を好きになる授業を心掛けます。	高田 豊		●	●		●	●		●	●	
3	自然環境・共生	世界農業遺産「大崎耕土」を知ろう	世界農業遺産「大崎耕土」について、居久根（いぐね）、巧みな水管理システム、農業と生きものの関わり、食文化と農文化、を噛み砕いて説明します。	高橋 のぞみ			●			●				5年生社会科「くらしを支える食料生産」
4	自然環境・共生	生きもの出前授業（水辺の生きもの観察）	沼や田んぼの生きものを学校で展示して観察します。野外で生きもの観察をする前の事前学習として最適です。	高橋 のぞみ		●	●			●				
5	自然環境・共生	渡り鳥について	宮城県に飛来する冬の渡り鳥について、渡りのルートや越冬地、絶滅の危機から復帰するまでのお話をします。宮城県の県の鳥である雁について、昔話や身近な道具に残る言葉などを交えて詳しく解説します。	高橋 のぞみ		●	●			●				5年生国語「大造じいさんとがん」
6	自然環境・共生	ヨシ原で体験学習	無栗沼のヨシ原を散策してヨシについて学び、ヨシ刈りをしてよしずを作ります。昔の暮らしを学びます。	高橋 のぞみ			△ 5～6年生					●		6年生 理科：生き物のくらしと環境
7	自然環境・共生	冬の渡り鳥の観察会	渡り鳥のマガンは、宮城県北部に集中していることの説明や地元への関心を高める	高橋 のぞみ		●	●					●		4年生 社会：特色ある地いきと人々のくらし 6年生 理科：生き物のくらしと環境
8	自然環境・共生	海の自然科学・環境教育プログラム MARE	海のさまざまな環境(湿地・外洋・磯・砂浜など)で起こることを体験的に学べるよう、学年に応じてプログラムデザインしています。例えば「水鳥たちのウェットランド食堂」という3年生用のプログラムでは、湿地での水鳥たちの食べ物をめぐる共存、環境への適応について、水鳥になって体験することで実感し学びます。	平井 和也		●	●			●				
9	自然環境・共生	海の自然科学・環境教育プログラム Poseidon	MAREと同様の海の自然科学・環境教育プログラムですが、海研オリジナルの小学校高学年～大人向けのものです。海の環境はサンゴ礁・寒流・暖流となっていて、特に寒流の海プログラムは三陸をフィールドに、サケの回遊・磯焼け・北の魚の識別などをテーマに開発しています。	平井 和也			△	●	●	●				
10	自然環境・共生	磯の生き物観察会	磯の生き物たち(ヒトデや貝、ナマコ、ハゼなどの小魚)を自分たちで見つけ採取し、それらの解説をおこなう観察会です。海のゴミ拾い(ビーチクリーン)もおこなって、マイクロプラスチック問題にもふれます。	平井 和也	●	●	●	●	●			●		
11	自然環境・共生	三陸の海の食と環境を学ぶプログラム ① レプリカ海鮮丼をつくろう ② タコレクチャーとたこ焼き作り ③ 鮮魚水族館 ④ 潮工房 など	三陸の海の食資源と環境学習を結びつけるプログラムで、食育にも通じています。①食品サンプルで作った海鮮ネタを使った魚の生態と流通を学ぶもの、②特産のタコにフォーカスしたもの、③未利用魚を活用した魚の生態・多様性を学ぶもの、④海からの恵みである塩を作ることを通じて自給の重要度とマイクロプラスチックにふれるものなどがあり、選択いただけます。	平井 和也			△	●	●	●				
12	自然環境・共生	水が汚れるのはなぜ？水をきれいにする方法を考えよう	座学や体験の実験により、水の汚れを考え、それをどのように科学的に知り、浄化するかを学びます。5年生社会科「わたしたちの生活と環境」、「②環境を守るわたしたち」への対応・応用も可能です。	山田 一裕		△	●	●	●	●	△			小学3・4年 社会科 「水はどこから」～「大切な水を繰り返し使う工夫」
13	自然環境・共生	生きものからSDG sを学ぶ	身近な生きもの達や植物の観察を通して、自然界の不思議や営みを知ります。また、命のつながりを感じることを目指します。	若見 朝子		●	●					●		1年生 生活：いきものとなかよし 2年生 生活：生きものなかよし大作せん 4年生 社会：水はどこから 5年生 社会：米づくりのさかんな地域 6年生 理科：生き物のくらしと環境
14	自然環境・共生	里山の生きもの達	身近に息づく生きもの達や植物の観察を通して、生息環境や、生きもの達への親しみ、四季を通して自然界の不思議や営みを知ります。命のつながりを感じることを目指します。また、多様な生き物と共生してきた世界農業遺産認定の大崎耕土についても理解を深めます。	若見 朝子		●	●					●		
15	自然環境・共生	SDG s達成に向け、森でアクションしよう！ ～木を植え、育て、共に暮らす～	森は温暖化の元となる二酸化炭素の吸収源であると同時に、水源かん養、土砂の崩壊防止、生物多様性など多面的機能を担っていることを身近に感じる	特定非営利活動法人 水守の郷七ヶ宿			●					●		4年生 社会：水はどこから 5年生 社会：わたしたちの生活と森林、これからの工業生産とわたしたち 5年生 理科：植物の発芽と成長 6年生 社会 政治・国際編：世界の未来と日本の役割 6年生 理科：地球に生きる
16	自然環境・共生	川の水はどこからくるのか ～里山の源流さがし体験活動～	・石巻市雄勝町の大原川流域を歩いて源流を探す活動 ・源流の湧き水は森の土中から湧いてくるとを、穴を掘って確かめる活動	雄勝環境教育センター			●					●		4年生 社会：水はどこから 4年生 理科：自然のなかの水のすがた 5年生 社会：わたしたちの生活と森林 5年生 理科：流れる水のはたらき 6年生 理科：生き物のくらしと環境
17	自然環境・共生	川で遊ぼう ～あんげんに・たのしく・やさしく～	・川に入り全身で流れや川底の変化、水温などを感じる活動 ・網で生き物を探取し観察する活動	カワラバン		●	●					●		1年生 生活：いきものとなかよし 2年生 生活：生きものなかよし大作せん 5年生 理科：流れる水のはたらき 6年生 理科：生き物のくらしと環境
18	自然環境・共生	川に学ぼう ～ちいき・かんきょう・くらし～	・地球儀などをつかって身のまわりの水を確認する。 ・身近な水辺に暮らすいきものの観察(事前採取して持参)を行うことで地域の水環境を考える。	カワラバン		●	●			●				1年生 生活：いきものとなかよし 2年生 生活：生きものなかよし 大作せん 4年生 社会：県の広がり、水はどこから 4年生 理科：自然のなかの水のすがた 5年生 社会：低い土地のくらし、米づくりのさかんな地域 5年生 理科：流れる水のはたらき
19	自然環境・共生	さがそう！ふれよう！水辺のいきもの観察会	・宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター向かいの水生植物園で水生昆虫や魚類をたも網等で採集し、観察する。 ・伊豆沼に設置した定置網を引き上げ、魚類等を観察する。	公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団	●	●						●		小学6年 理科 生き物のくらしと環境
20	自然環境・共生	国内最大級の渡り鳥の飛来地！ 伊豆沼・内沼ガン・ハクチョウ観察会	国内最大級の渡り鳥飛来地である伊豆沼・内沼で、ガンやハクチョウの勉強をする。	公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団		●						●		小学4年 社会：特色ある地いきと人々のくらし 小学4年 理科：動物の体のつくりと運動 小学6年 理科：生き物のくらしと環境
21	自然環境・共生	干潟にはどんな生きものがすんでいるの？ ～生命の宝庫 蒲生干潟の生きもの調査～	・仙台市宮城野区蒲生干潟で小グループに分かれ、生き物調査を行う。 ・室内で震災からよみがえった蒲生干潟の回復過程、干潟や七北田川の自然と生物のスライドや動画でプレゼンテーションを行う。 ・いずれも生命の宝庫である干潟には数多くの生きものが、多様な環境に適応して生きていることを知ると共に、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた干潟生態系が再生しつつあることを実感し、自然と共に生活することの大切さ考えることをねらいとして実施する。	蒲生を守る会			●	●	●	●		●	●	
22	自然環境・共生	森林と私たちの暮らし	・日本の森林の現状、森林の持つ機能について理解し、人間の暮らしと森林がどのように関わってきたのかを体験しながら、これからの森林との関わり方について考えます。	森 佳代子			●	●	●	●		●		
23	自然環境・共生	「ニホンミツバチと多様性」を学びながら、ミツロウでつくる暮らしのアイテム	・ニホンミツバチの生態や生涯、自然界での役割や人間との関わりについて学び、多様性や社会性について考えます。	森 佳代子			●	●	●	●		●		
24	自然環境・共生	森林環境教育	林業と森林環境保全について	森 優真	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
25	自然環境・共生	水辺教室	国の指定湖沼である釜房ダム貯水池の概要及び川とダムの役割についてお話します。また、釜房ダムの上流及び下流の河原にて、水生生物の調査及び水質の調査を行い、水のきれい度を調査することを通して、水に親しんでいただくことを目的にしています。	調整中			●			●		●		

令和8年度 みやぎエコ・エデュケーション・プログラム(MEEP)推進事業 講座及び講師一覧（案）

No.	分野等	メニュー名称	メニュー概要	講師名	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中学生	大人	座学(対面)	リモート(Web等)	野外活動	現地見学	参考教科・学年等
26	地球温暖化・エネルギー	地球温暖化の現状から私たちの省エネ行動について考える	地球温暖化のメカニズムと現状（CO2やフロン等）を確認し、私たちが日常生活で行うべき省エネ活動について考えます。宮城県内の事例があればできるだけ活用します。SDGsと私たちがやるべきことの関係を一緒に考えます。	後藤 健一		●	●	●	●	●	△		△	
27	地球温暖化・エネルギー	ソーラーラントんを作ろう！	〇×クイズやソーラーラントんを作りながら、再生可能エネルギーの理解と自然エネルギー体験により、知識を深めます。	今野 勇		△	●			●				
28	地球温暖化・エネルギー	使用済み食用油で地球温暖化防止、みんなができること	エネルギーや資源の大切さ、地球温暖化について一緒に考えます。出前講座の場合、前半40分は教室で講義、後半は校庭にて使用済み食用油をリサイクルしたバイオディーゼル燃料で走るゴーカートの試乗体験を行います。後日、千田清掃のバイオディーゼル燃料製造工場見学も対応可能です。	(有)千田清掃			●	●	●	●		●	●	総合的な学習の時間 理科
29	地球温暖化・エネルギー	エコキャンドルづくり	結婚式場などの使用済みキャンドルを使ってリメイクキャンドルを作ります。ロウが固まるまでの時間にエコ講座をします。カラフルなキューブと各コップを使用し楽しく作れます。	千葉 智恵		△	●		●	●				
30	地球温暖化・エネルギー	地球温暖化とわたしたちの暮らし	地球温暖化について最新の情報をもとに映像やクイズ等で学び、わたしたちが身近にできることを学んでいきます。	千葉 智恵			●	●		●				小学5・6年生 理科、社会 中学生 社会科（歴史） 総合的な学習の時間
31	地球温暖化・エネルギー	海辺の生き物解説と海の温暖化のお話し	魚類、棘皮動物、貝類など、海のさまざまな生き物の写真をもとに、その不思議な生態をレクチャーし、最近の海水温上昇で海の環境・生態系が大きく変化して懸念される状況になっていることを学びます。 中学生や大人にも、内容を対象に合わせて実施します。	平井 和也		●	●	●	●	●	△			
32	地球温暖化・エネルギー	クロネコヤマト環境教室	ヤマト運輸による、小学生向けの出前講座です。5年生、6年生の理科や社会科、総合的な学習に関わる内容です。環境の取り組みをクイズ形式で教え、ワークシートを活用したグループワークを行い、こどもたちにもできる環境の取り組みを考えてもらう授業を行います。	ヤマト運輸 サステナアンバサダー			●			●				
33	地球温暖化・エネルギー	地球温暖化を「知る」から「動く」へ実験と対話で学ぶ環境学習	地球温暖化の仕組み・現状・将来予測と、私たちにできる対策を、講話と実験・体験を通して学ぶ参加型プログラムです。雲生成実験や再生可能エネルギー体験、海洋酸性化の可視化などを取り入れ、子どもから大人まで「知る」から「行動する」へとつなげます。	木立 芳行			●	●	●	●	△			
34	地球温暖化・エネルギー	天気と気候と防災のはなし	わたしたちの暮らしと切っても切れない天気。その天気が昔と変わってしまった気候変動。極端現象が増えて防災の重要性も増している。講座では、依頼者の視点に合わせてこれらの詳細について解説、暮らしに活かす方法を提案する。	石井 洋子			●	●	●	●				
35	地球温暖化・エネルギー	つくって使おうロケットストーブ	ロケットストーブを作り（希望者）、小枝を燃料に調理し、対話しながら食事する。エネルギー、防災、山のこと、便利さと引き替えに失ったものについて考える。キーワードは「おいしく楽しく心地いい暮らし」	石井 洋子			●	●	●			●		
36	地球温暖化・エネルギー	ユーラス石巻ウインドファーム見学会	風力発電の仕組みや再生可能エネルギーの必要性、その役割について、実際の風車を見学しながら学びます。併せて、発電事業と地域との関わりや、地域における取組等についても紹介します。	株式会社ユーラスエナジーホールディングス		●	●	●	●				●	
37	地球温暖化・エネルギー	水素エネルギー利活用講座	水素エネルギーの安全性や利活用について県民等への理解を深める出前講座を実施します。	調整中										
No.	分野等	メニュー名称	メニュー概要	講師名	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中学生	大人	座学(対面)	リモート(Web等)	野外活動	現地見学	参考教科・学年等
38	3R・リサイクル	3Rの現状から私たちの分別について考える	廃棄物処理事業場から見た3Rの実情について確認し、私たちがやるべき分別活動の価値について考えます。宮城県内の事例があればできるだけ活用します。SDGsと私たちがやるべきことの関係を一緒に考えます。	後藤 健一		●	●	●	●	●	△		△	
39	3R・リサイクル	食品ロスの現状から私たちの食のありかたについて考える	エコフィードによる食品ロス循環事例（廃食品の活用等）や食品残さのエネルギー化事例などから見る食品の大切さの確認と私たちがやるべきことについて考えます。宮城県内の事例があればできるだけ活用します。SDGsと私たちがやるべきことの関係を一緒に考えます。	後藤 健一		●	●	●	●	●	△		△	
40	3R・リサイクル	海のごみ問題(特にプラスチック)について考える	大きな環境問題となっている海洋プラスチックごみについて、その現状と何が問題なのか、原因は何かを学び、どうやって解決していくのかを議論します。 中学生や大人にも、内容を対象に合わせて実施します。 野外でのビーチクリーン活動と組み合わせることをお勧めします(ゴミ処理要相談)。	平井 和也			●	●	●	●		△		小学4年 社会科 「ごみの処理と利用」 小学5年 社会科 「わたしたちの生活と環境」
41	3R・リサイクル	「ブチブチ®」でリサイクルを学ぼう！	環境問題に対して、身近なブチブチ®を題材に考えます。地球温暖化の原因、リサイクルの重要性を考え、児童のリサイクルに対する行動変容を目指します。	川上産業株式会社			●			●				
42	3R・リサイクル	「生ゴミ」は本当にゴミなのか？！～資源の大切さと循環を考える～	・南三陸町バイオガス施設「南三陸BIO（ピオ）」の見学 ・ワークショップ活動を含めた資源循環理解についての講話	一般社団法人南三陸研修センター		●	●	●	●	●	●		●	
43	3R・リサイクル	宮城県海ごみ環境教育学習	海ごみが沿岸部の問題だけではなく、宮城全体また、日本を含めた世界共通の問題であることを理解するとともに、環境問題と自分たちの生活との関りを知り、自分には何ができるかを考えるきっかけを作ります。	みやぎ海岸美化協議会		●	●			●	△			
No.	分野等	メニュー名称	メニュー概要	講師名	未就学児	小学校1～3年	小学校4～6年	中学生	大人	座学(対面)	リモート(Web等)	野外活動	現地見学	参考教科・学年等
44	世界との関わりと環境	日本人がいっぱい食べると世界の水が悪くなる？	世界の水問題が日本の食生活と密接につながっているということを、モロッコ（青年海外協力隊での派遣経験あり）などの諸外国を例に日本の役割や生活のあり方を考えてもらいます。国際理解教育とも関連します。	山田 一裕			●	●	●	●	△			小学6年 社会科 「世界の中の日本」
45	世界との関わりと環境	外国のECOなまちづくり	外国のまちを歩きながら出会った事例について写真で紹介しします。それらを見ながら自らの視野を広めつつ、一方で自分たちの住むまちや環境はどうあるべきか、について考えるきっかけとします。	近藤 祐一郎			●	●		●	●			社会科、総合科
46	世界との関わりと環境	国がなくなる？！～キリバス共和国と地球温暖化～	国がなくなる？！～キリバス共和国と地球温暖化～	ケンタロ・オノ			●	●	●	●	●			
47	世界との関わりと環境	南極とSDGs	南極の自然環境や観測隊の活動を、講師が撮影した写真などを使って紹介。また、環境に配慮しながら限られた物資で暮らす観測隊の生活から「持続可能な暮らし」とは何かを考える。	石井 洋子		●	●	●	●	●				